

# 東日本大震災からの復興状況 ～南三陸町の状況～

戸倉小学校(開校式 10月4日)



平成27年10月

## はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から4年半が過ぎ、壊滅的な被害からの復旧・復興に向け一歩ずつではありますが着実に進みつつあります。

我々の先人が幾多の大津波により甚大な被害を受けながらも、不撓不屈の精神でこれらの苦難を乗り越え町を再建してきたように、震災後の無残な姿からの脱却は順調に進みつつあります。

平成27年度は戸倉地区の拠点となる戸倉小学校が完成したほか、住民の生活に欠かせない南三陸病院が完成します。また、三陸自動車道・志津川インターチェンジ(仮称)の完成や志津川市街地の「早期整備エリア」の造成完了など、町の賑わい創出に向けた整備が着々と進みつつあります。

創造的復興に向けて行政、住民が一体となり復興の基盤になるものを確実に整備し、復興が現実として感じられる施策の展開を図るとともに、本資料では南三陸町の復興に向けた取組み、地域の現状や課題について説明いたします。

最後になりますが、東日本大震災を機に日本国内外からの手厚いご支援に対し感謝いたします。

平成27年10月  
南三陸町長 佐藤 仁



(平成24年5月撮影)

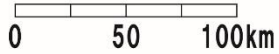


(平成27年9月撮影)

志津川中学校より志津川市街地を望む

# 南三陸町のご紹介

## ■位置と地勢



南三陸町は、宮城県北東部に位置し、馬蹄形の形はリアス式海岸特有の猛々しい風光を有する三陸復興国立公園の一角を形成している。東は太平洋に面し、北は気仙沼市、南は石巻市、西は登米市にそれぞれ接している、

面積は163.40km<sup>2</sup>、東西、南北とも約18kmで、西・北・南西は北上山地の支脈の南東にあり、東は海に向かって開け、西の田東山嶺から海に向かっては、北上山地の山麓部、解析された河岸段丘を経て海岸部に至っている。海岸部は、日本有数の養殖漁場になっている。

気候は、太平洋岸に位置するため、海流の影響により夏は涼しく、冬は雪が少なく、比較的温暖な地となっている。

役場所在地	〒986-0792 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田56番地2
北緯	38°40'49"
東経	141°27'38"
町花	ツツジ
町木	タブノキ
町鳥	イヌワシ

# 南三陸町のご紹介

## 沿革

**明治 8年** 志津川村、清水浜村、荒戸浜村の3か村が合併し、本吉村となる。  
**明治28年10月31日** 本吉村が町制施行し、志津川町となる。  
**昭和30年 3月 1日** 志津川町、戸倉村、入谷村の1町2村が合併し、志津川町となる。  
**昭和34年 4月 1日** 歌津村が町制施行し、歌津町となる。  
**平成17年10月 1日** 志津川町と歌津町の2町が合併し、南三陸町となる。

## 人口

(単位：人、世帯)

地区	人口	男	女	世帯数
志津川	5,644	2,750	2,894	2,076
戸倉	1,663	801	862	527
入谷	2,044	998	1,046	640
歌津	4,539	2,250	2,289	1,372
合計	13,890	6,799	7,091	4,615

※平成27年9月30日現在

~参考：震災前の人口及び世帯数~  
 [平成22年国勢調査]  
 人口17,431人、5,295世帯  
 [平成23年2月末日現在住民基本台帳]  
 人口17,666人、5,362世帯

## 東日本大震災の被災状況 ※平成27年9月30日現在

### ○人的被害

死者620人（直接死 600人※、間接死 20人）  
 ※直接死のうち、町民 551人、町外の方 48人、不明 1人  
 行方不明者 212人（うち町民 211人）

### ○建物（住家）被害

全壊 3,143戸 (58.62%)  
 半壊、大規模半壊 178戸 (3.32%)  
 半壊以上の計 3,321戸 (61.94%)

※ ( ) は、平成23年2月末日現在の住民基本台帳世帯数に対する割合





# 1. 応急復旧

## 1-1 避難者・仮設住宅の状況

### ■ 避難者の減少

平成24年5月末時点では、県内県外に合わせて929世帯がみなし仮設住宅等へ入居していたが、平成27年3月末時点では571世帯まで減少した。

	H24.5.29	H24.12.27	H25.10.31	H25.12.31	H26.5.31	H26.8.31	H26.11.30	H27.3.31	増減
	a	b	c	d	e	f	g	h	a-h
県内避難	736	715	645	625	540	498	473	445	-291
県外避難	193	170	162	147	137	128	127	126	-67
合計	929	885	807	772	677	626	600	571	-358

県内445世帯の市町村内訳

登米市	仙台市	南三陸町	気仙沼市	石巻市	大崎市	栗原市	富谷町	大和町	名取市	利府町	その他	合計
219	101	35	22	17	11	10	4	4	4	4	14	445

### ■ 仮設住宅等の状況

仮設住宅戸数 2,154戸 ※平成23年8月末までに整備完了

町内 52箇所(1,668戸)

町外(登米市)6箇所(486戸)

仮設住宅入居戸数 1,516戸 (世帯数 1,321世帯(3,718人))

(平成27年9月28日現在)

### ■ みなし仮設住宅等の状況

みなし仮設住宅入居世帯数 331世帯

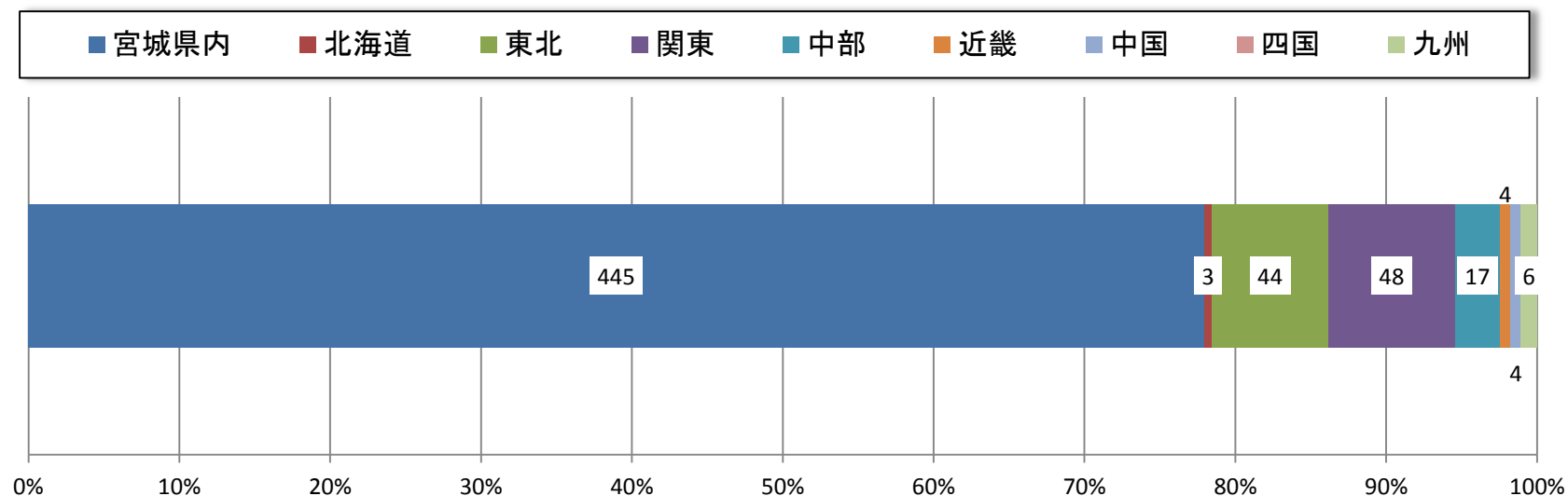
(県内 269世帯、県外 62世帯)

(平成27年9月30日現在)

# 1. 応急復旧

## ■ 避難者の避難先

宮城県内が約78%を占めているが、宮城以外の東北5県に44世帯、関東地域に48世帯が避難している。



単位：世帯

\*平成27年3月31日現在

# 1. 応急復旧

## ■ 仮設住宅での暮らし

東日本大震災から4年半が過ぎましたが、今なお町内外58カ所の仮設住宅に1,321世帯(3,718人)が生活されています。

町や社会福祉協議会では仮設住宅でのコミュニティ形成の支援や、生活支援員により住民の不安や寂しさを傾聴しながら、一人ひとりの気持ちの寄り添う活動を行っています。

仮設住宅での生活が長期化する中、一日でも早く仮設住宅から『終の棲家』に移れるよう防災集団移転促進事業や災害公営住宅整備事業を進めています。



仮設住宅集会所での『おちゃっこ』



生活不活発病防止のレクリエーション

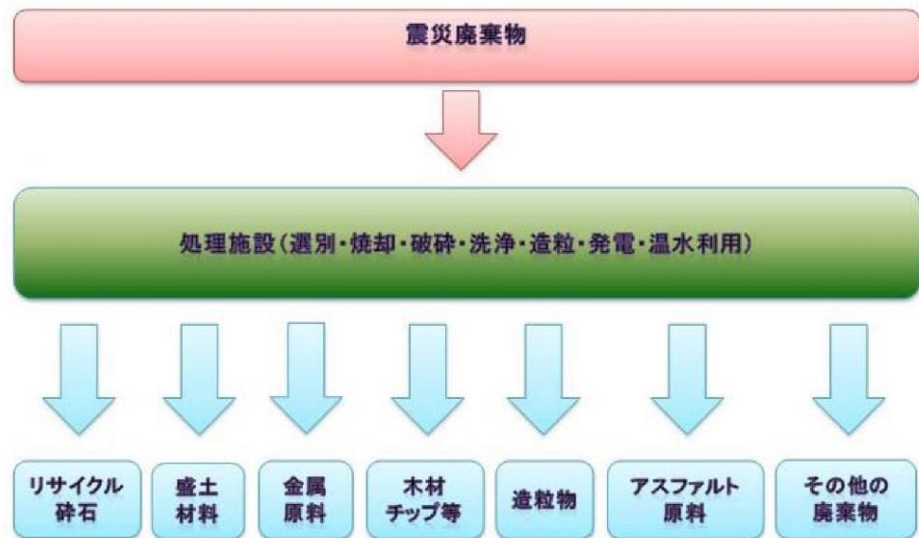
# 1. 応急復旧

## 1-2 災害廃棄物(がれき)処理の状況

### ■災害廃棄物処理

南三陸町戸倉地区在郷の廃棄物処理施設(平成26年3月末にて業務終了)等により、南三陸町内にて発生した災害廃棄物の処理実績 72.3万t ※津波堆積物含む

災害廃棄物は施設にて選別、洗浄、破碎され復興資材(砕石・盛土材等)へリサイクルし復興工事に再利用される



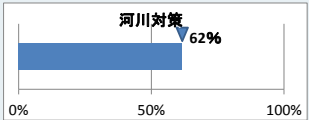
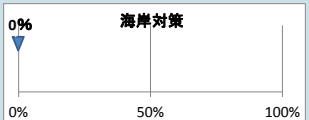


## 2. まちの復旧・復興

### 2-1 公共インフラの本格復旧・復興の進捗状況

#### ■安全・安心のための基盤整備関係

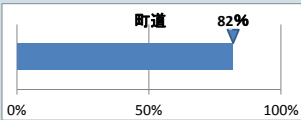
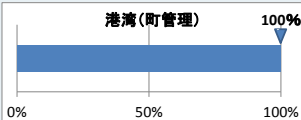

災害廃棄物の処理は進捗率100%となっている。河川対策は62%が着手済みであるが、海岸対策は着手まで至っていない。

項目	着手率	復旧復興の状況 /被害の状況
災害廃棄物の処理	平成26年3月 事業完了	進捗率 100% 推計量 72.3万t
河川対策		着手済 8箇所 被災箇所数 13箇所
海岸対策		着手済 0箇所 被災箇所数 14箇所

(平成27年9月現在)

#### ■交通関係

漁港は県管理・町管理ともに100%着手済みとなっている。町道は約82%が着手済みであるが、全面着手には至っていない。

項目	着手率	復旧復興の状況 /被害の状況
交通網 (町道)		着手済 36箇所 被災箇所数 44箇所
町管理 漁港		着手済 19箇所 被災箇所数 19箇所
県管理 漁港		着手済 4箇所 被災箇所数 4箇所

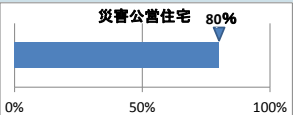

(平成27年9月現在)

## 2. まちの復旧・復興

### 2-2 公共インフラの本格復旧・復興の進捗状況

#### ■ 災害公営住宅・まちづくり関係

災害公営住宅は3地区104戸が完成、4地区487戸が工事中となっている。また、防集団地は28団地全てが大臣同意を得て、平成27年6月末までに20団地(255戸)が竣工。

項目	着手率	復旧復興の状況/ 被害の状況
災害公営住宅	 <p>災害公営住宅 80%</p>	計画8地区・738戸 着手済7地区・591戸 (うち3地区・104戸完成)
防集団地 (大臣同意を得た地区数)	 <p>防集団地 100%</p>	計画28団地・863区画 全28団地が着手済み (うち20団地・255区画完成)

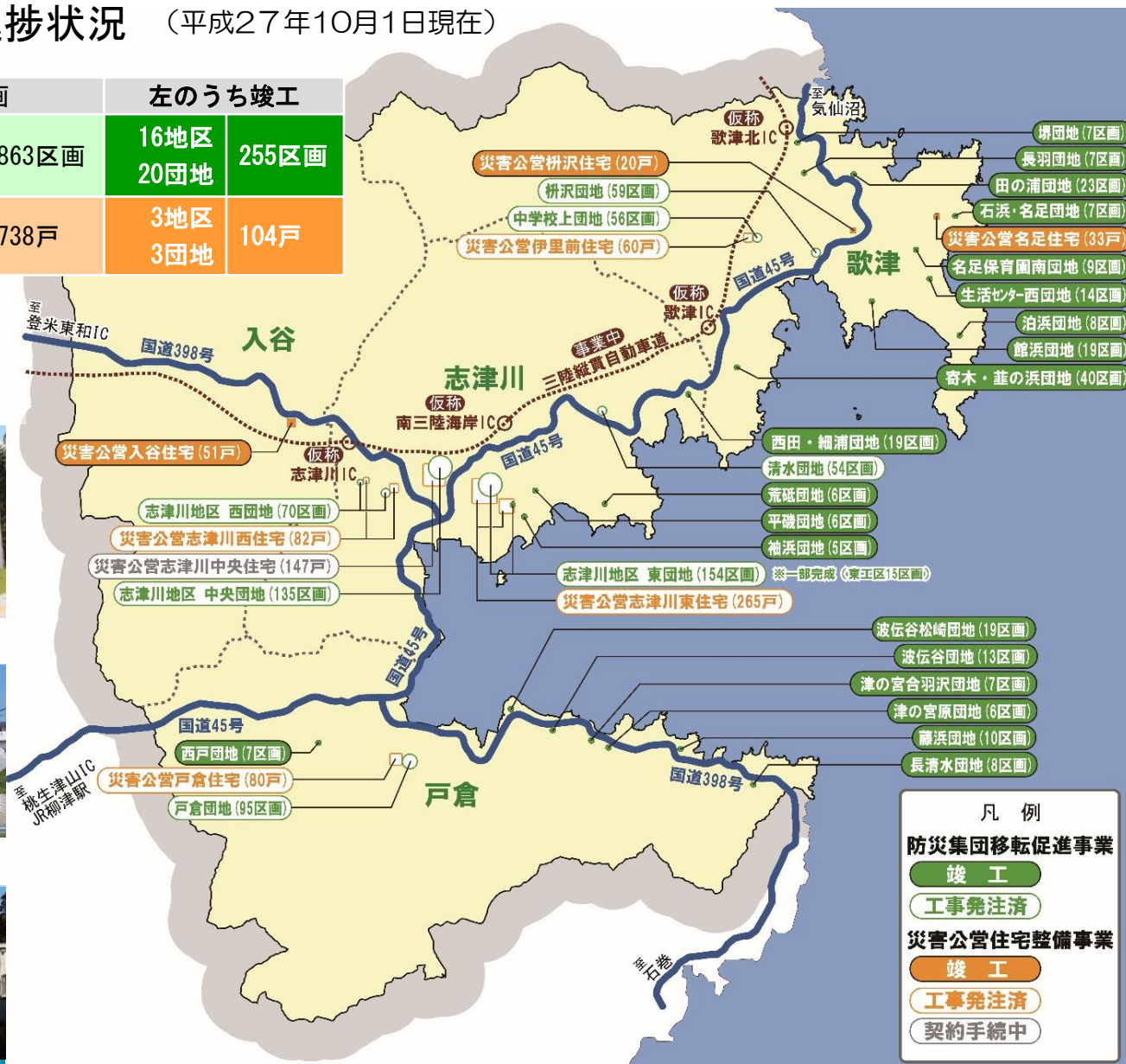
(平成27年10月1日現在)



## 2. まちの復旧・復興

### ■ 住宅造成工事の進捗状況 (平成27年10月1日現在)

	計画		左のうち竣工	
防災集団移転促進事業	20地区	863区画	16地区	255区画
	28団地		20団地	
災害公営住宅整備事業	8地区	738戸	3地区	104戸
			3団地	



災害公営入谷住宅 (町営入谷復興住宅)



災害公営名足住宅 (町営名足復興住宅)



災害公営柘沢住宅 (町営柘沢復興住宅)



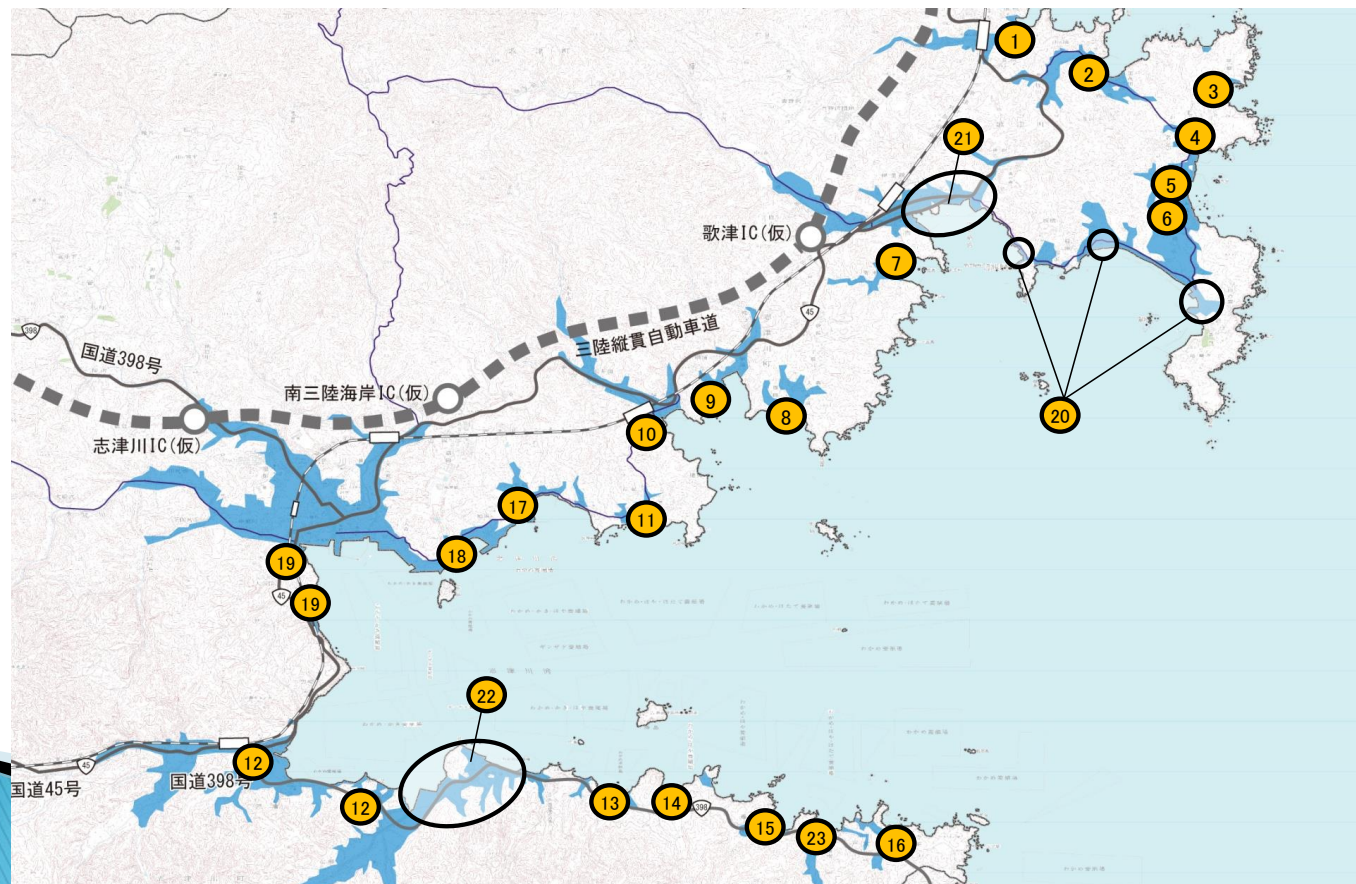


## 2. まちの復旧・復興

### 2-3 漁業集落機能強化事業の実施状況

漁集事業は、東日本大震災により被災した漁港背後集落の円滑かつ迅速な復興のため、高台移転した居住エリアと漁港を結ぶ道路整備、避難路等の防災安全施設整備、土地効率を高める土地利用高度化再編整備などを主な対象メニューとした事業である。

南三陸町では、志津川漁港本港地区を除く23漁港28地区での実施を予定している。  
(平成27年10月現在で23地区を交付申請。下図参照)





## 2. まちの復旧・復興

地区別の漁集事業の実施状況を以下に示す。

主な事業としては、集落道（避難道路）・防災施設・水産用地整備事業等となっている。

地区	実施事業	工期
1 港地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~27
2 田の浦地区	集落道、防災施設、水産用地整備、集会所用地	H26~28
3 石浜地区	防災施設、水産用地整備	H26~28
4 名足地区	防災施設、水産用地整備	H26~28
5 中山地区	防災施設、水産用地整備	H26~27
6 馬場地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~28
7 奇木地区	防災施設、水産用地整備	H26~27
8 萁の浜地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~28
9 細浦地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~28
10 清水地区	防災施設、水産用地整備	H26~28
11 荒砥地区	集落道、防災施設、水産用地整備、集会所用地	H26~28
12 折立・水戸辺地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~28
13 津の宮地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~28
14 滝浜地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~28
15 藤浜地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~28
16 寺浜地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~28
17 平磯地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~27
18 袖浜地区	集落道、防災施設	H26~28
19 林・大久保地区	集落道、防災施設、水産用地整備	H26~28
20 泊浜・稲淵・館浜地区	防災施設	H26~28
21 伊里前地区	防災施設、水産用地整備	H26~28
22 在郷・波伝谷地区	防災施設、水産用地整備	H26~28
23 長清水地区	防災施設、水産用地整備	H26~27



共同利用施設用地(イメージ)



緊急避難路(イメージ)

## 2. まちの復旧・復興

### 2-4 復旧・復興事業の人的体制

#### ■職員体制

◆南三陸町役場職員は348人、うち他の自治体等からの派遣職員として108人が、16都県、48団体から派遣されている

町職員	再任用	任期付職員	派遣職員 (自治体等)	派遣職員 (復興庁)	合 計
208	6	19	108	7	348

単位:人

#### \* 団体数 48団体

:東京都、宮城県、神奈川県、兵庫県、33市(西宮市等)、2区、9町、1村、復興庁

#### \* 都県別 16都県

:宮城県31人、兵庫県31人、神奈川県11人、東京都8人、愛知県7人、宮崎県3人、鹿児島県3人、埼玉県3人、鳥取県3人、北海道1人、青森県1人、山形県2人、長野県1人、三重県1人、佐賀県1人、長崎県1人、復興庁7人

## 2. まちの復旧・復興

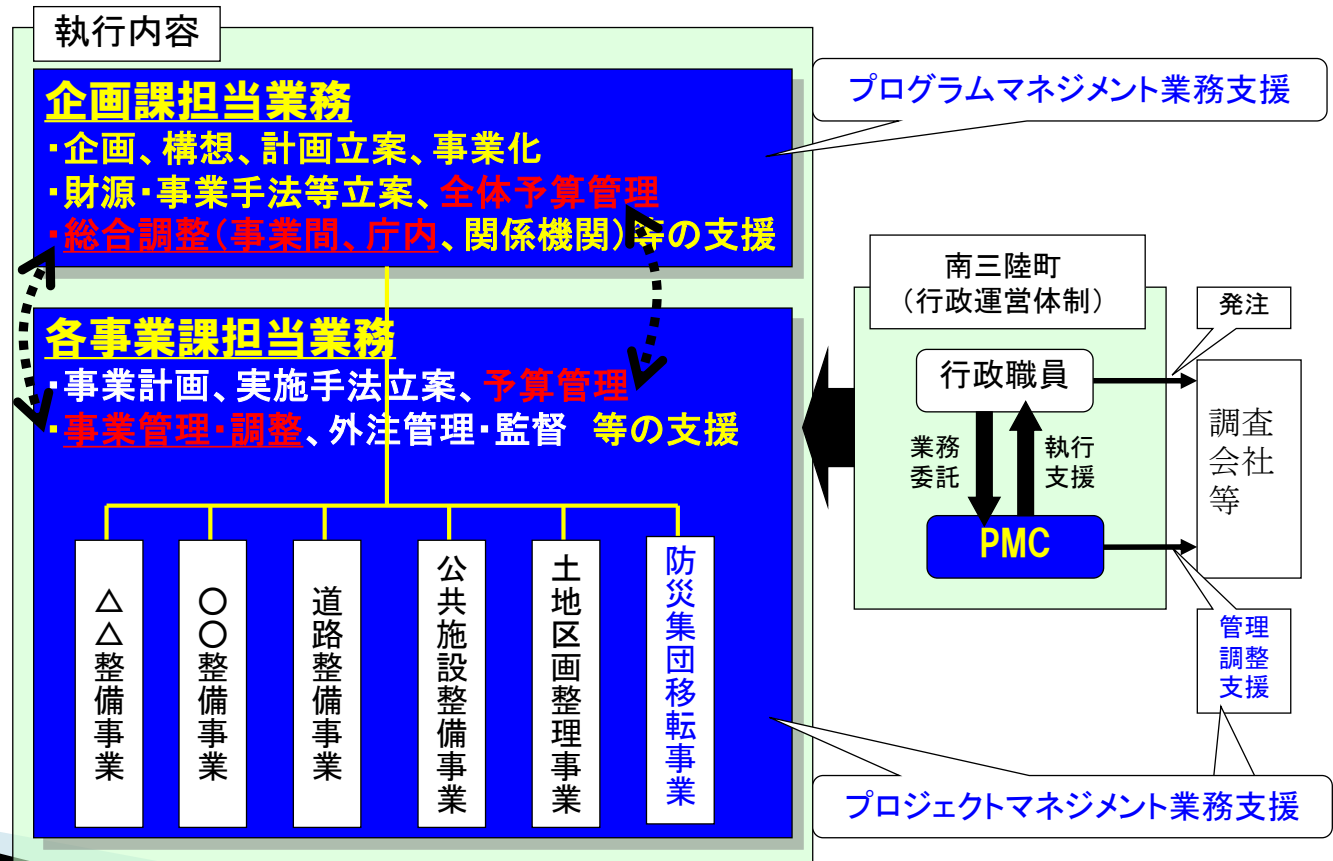
### ■新たな契約方式への取り組み

(PMC業務(市街地総合コーディネート業務)による行政機能の支援)

◆早期、確実な町の復興を目指し、町職員の皆様と一体的に民間ノウハウを活用しつつ行政事業そのものの執行を支援する総合かつ専門のコンサルタント集団

◆Pプログラム(またはPプロジェクト)・Mマネジメント・Cコンサルタント

⇒【PMC】

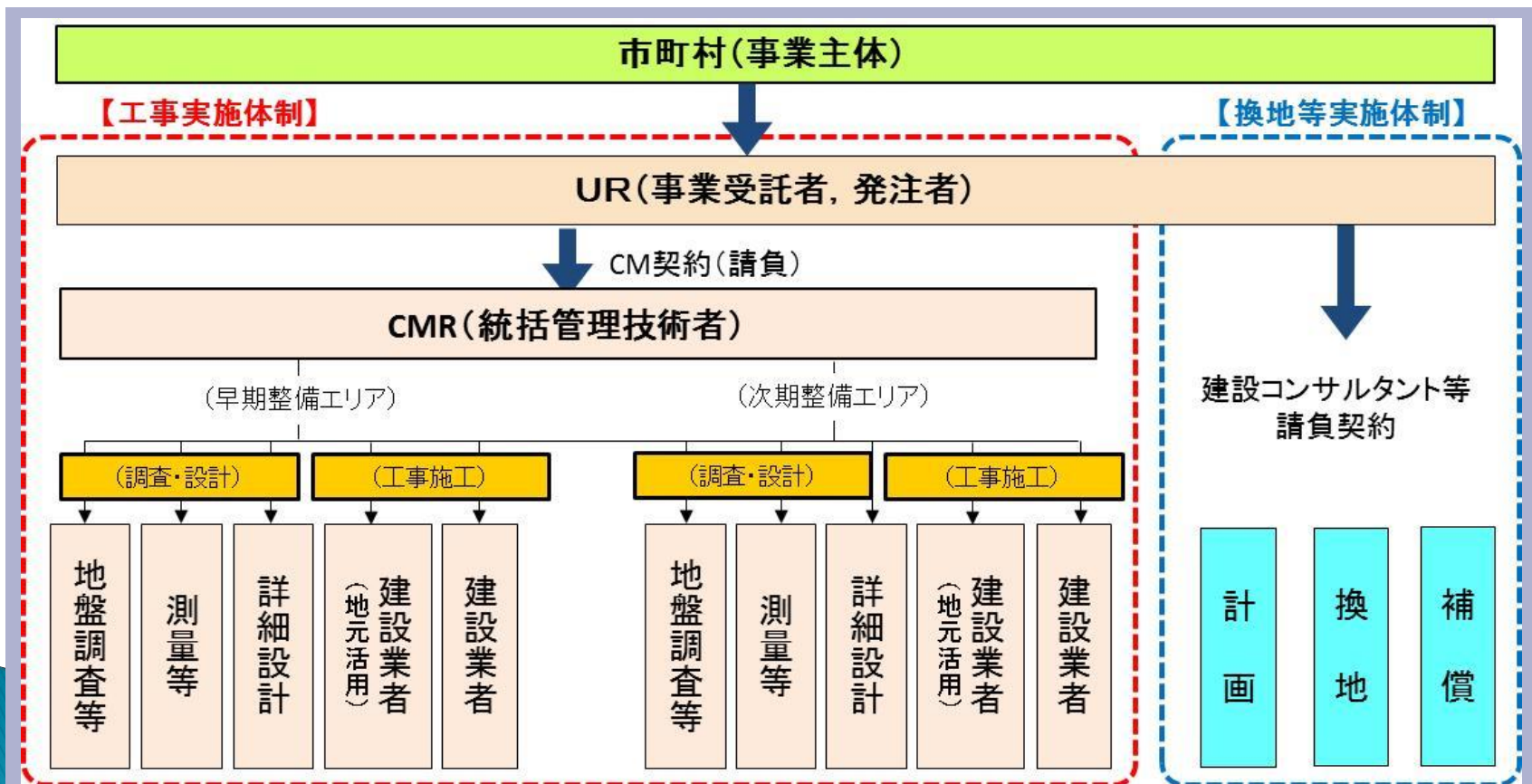


## 2. まちの復旧・復興

### UR都市機構によるCM\*方式とは

CMR（統括管理技術者）が、工事施工に関連して行う調査・測量、設計、施工と併せて、発注者が行うマネジメント業務の一部を請負い、発注者の代行者となって、中立的な立場で工程管理、品質管理、コスト管理、施工管理を行うもの。

#### ◆事業執行体制(例)



CM\*: construction management; 設計から施工管理等を含む総合的な建設管理を行うこと。

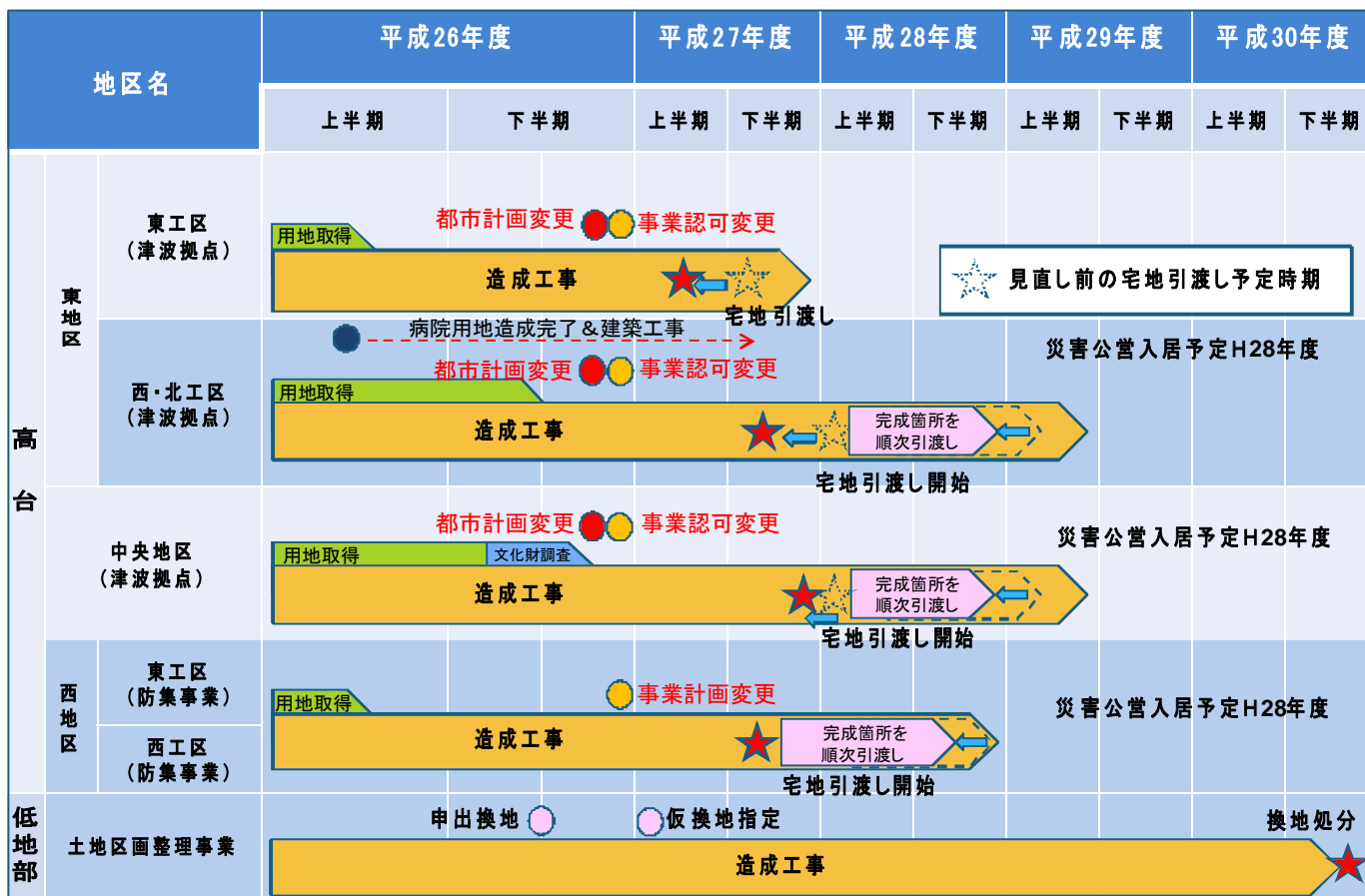


## 2. まちの復旧・復興

### 2-5 復興まちづくり

#### ■被災地の市街地・居住地復興のための事業スケジュール

#### ○津波復興拠点整備事業および防災集団移転促進事業のスケジュール



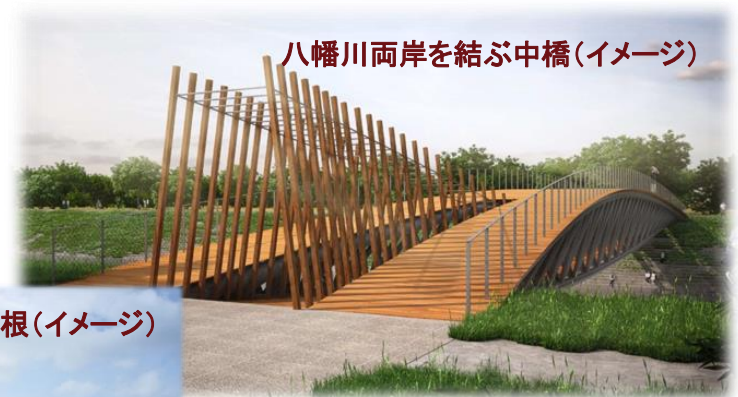
※このスケジュールは現時点の予定であり今後変更されることがあります

## 2. まちの復旧・復興

### ■ 志津川市街地グランドデザイン

志津川市街地における復興後のイメージとして世界的建築家である隈研吾氏より提案海と一体化した「回遊性と親水性のある街並み」が、漁村の雰囲気を残した商店街形成となっている。復興後の交流人口の更なる増加を目指すフラッグシップとして、今後デザインの具現化を進める

南三陸町志津川地区グランドデザイン  
《製作》隈研吾建築都市設計事務所  
Kengo Kuma & Associates



## 3. 産業・雇用

### 3-1 商工業の復興状況

#### ■ 商工業の推移

- ・震災により473事業者が被災。うち262事業者が営業再開した
- ・工場、店舗等、仮設施設により90事業所が再開した
- ・平成23年4月より毎月、福興市を開催している
- ・「伊里前福幸商店街」(平成23年12月)「南三陸さんさん商店街」(平成24年2月)がオープン
- ・「南三陸キラキラ井」が復活(平成24年2月)
- ・「南三陸さんさん商店街」ががんばる商店街30選に選ばれた。(平成25年12月)
- ・平成23年4月にスタートした南三陸福興市が、開催50回記念を迎えた(平成27年9月)

#### ■ 主な事例

グループ化補助金の活用事例  
(独)中小企業基盤整備機構による仮設店舗等の整備



©南三陸がんばる名産品フォトプロジェクト Photo by 浅田 政志





#### 3-2 農業の復興状況

##### ■津波被災農地の営農再開面積

###### ○農地

復旧対象面積	246ha
復旧工事対象面積	224ha(すべて着手済み)
うち完成済み	73.5ha

※残り150.5haの復旧工事（ほ場整備事業含む）は、平成27年から順次竣工し、平成28年度末で完了予定

###### ○水稲作付面積

震災前作付面積	285ha
H27年作付面積	145ha

###### ○園芸作物等

園芸特産については、3.3haが復旧し、ハウス等の施設についても61棟が復旧した。

###### ※復旧施設

菊1.5ha(12棟)・小松菜1.0ha(33棟)・いちご0.6ha(8棟)  
・ほうれん草・きゅうり0.2ha(8棟)

##### ■主な事例

復旧済水田へ水稲作付試験



菊(ハウス栽培)



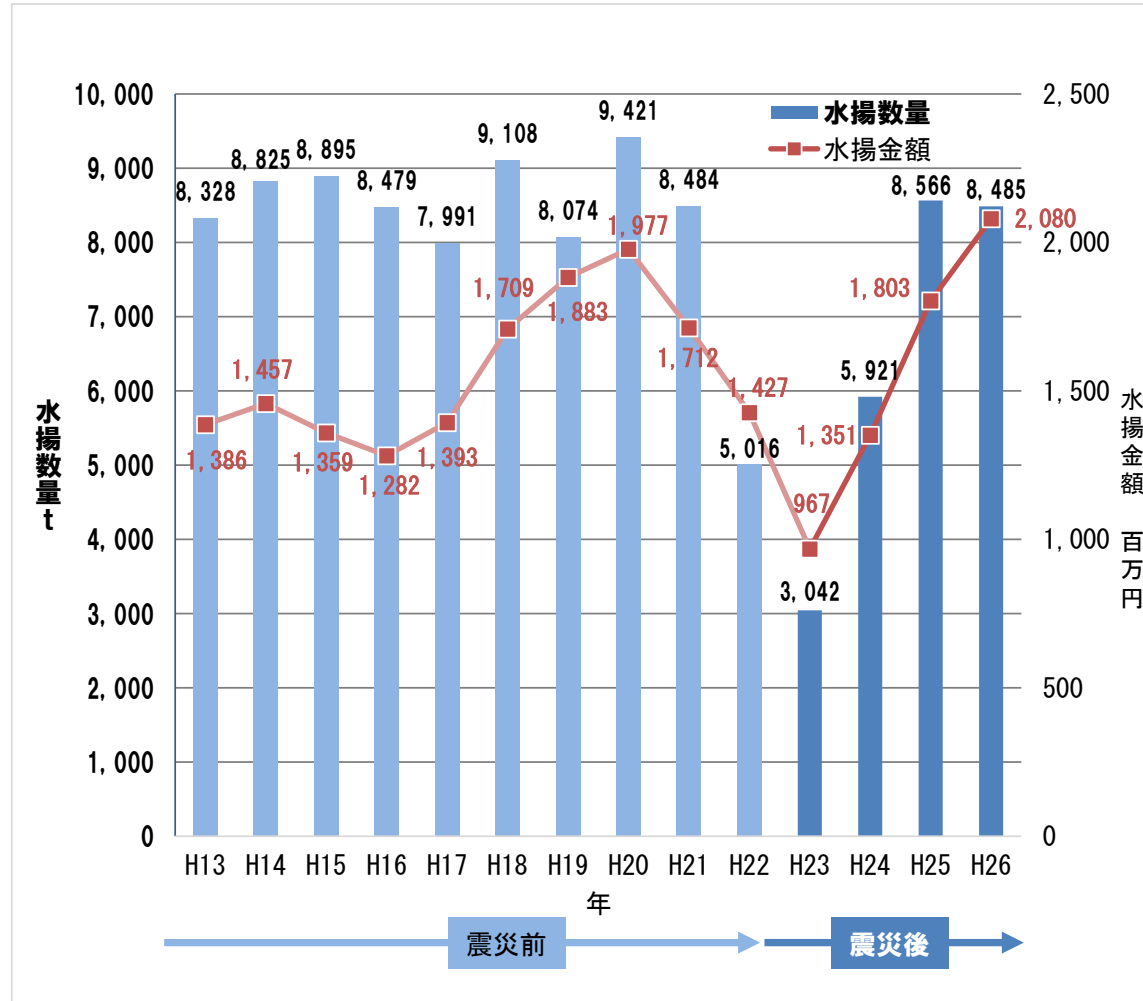


### 3. 産業・雇用

#### 3-3 水産業の復興状況

##### ■水産業の復旧

- 町管理漁港
  - 被災漁港数 19港
  - 復旧工事着手 19港
- 漁船
  - 震災前漁船数 2,194隻
  - 震災後 約1,000隻
- 養殖売上高
  - 震災前(平成21年度) 約41億円
  - 震災後(平成26年度) 約36億円
- 魚市場水揚量
  - 震災前(平成21年度) 8,484t
  - 震災後(平成26年度) 8,485t
- 魚市場取引額
  - 震災前(平成21年度) 約17億円
  - 震災後(平成26年度) 約21億円



## ■水産加工業支援

南三陸町の基幹産業である水産業の復興には、水産物を引き受ける1次処理施設や水産加工場の能力増強が不可欠です。

なかでも、町内の雇用を支え総生産の底上げに貢献してきた、水産加工業の早期復興が課題となっています。

町では被災した漁協などの漁業者団体や、水産加工流通業者の復興支援を目的として、復興交付金を原資とした「水産業共同利用施設復興整備事業」にて、水産加工流通業の復興や新規立地を平成24年度より支援しています。

### 【実績】

平成24年度(第1回採択)	2社(整備完了)
平成25年度(第2回採択)	1社(整備完了)
平成26年度(第3回採択)	5社
	計 8社

### ～内訳～

水産加工	6社
水産加工・地魚直販	1社
水産廃棄物処理	1社

(平成27年9月現在)



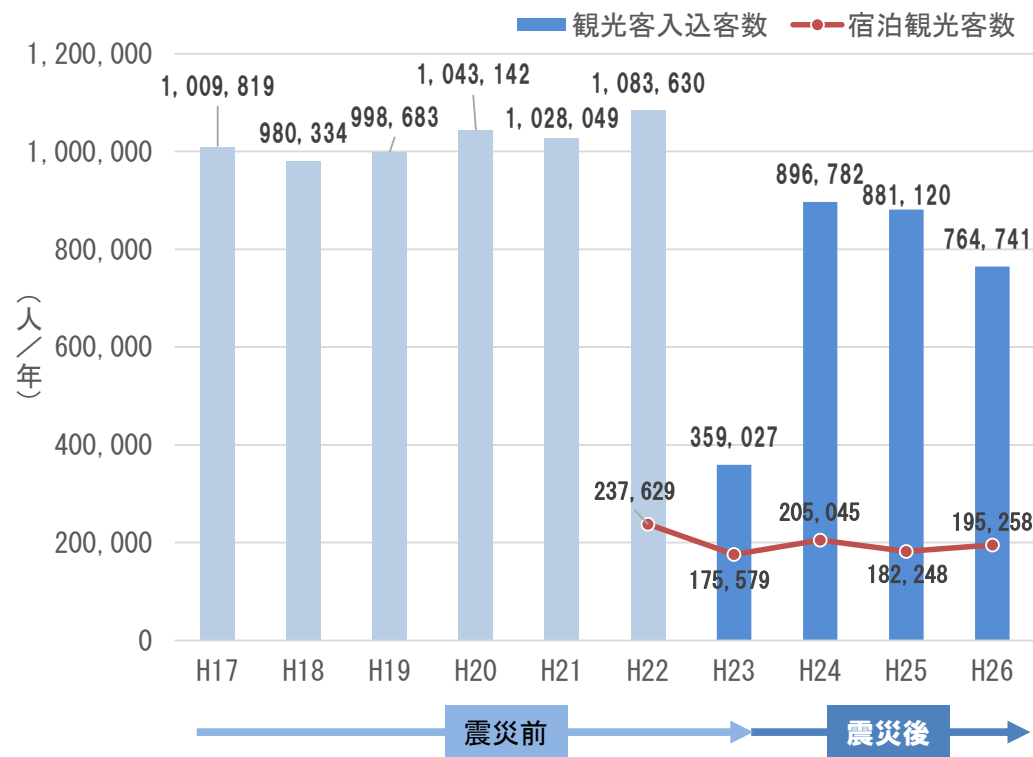
水産加工(地魚一次処理)

#### 3-4 観光業の復興状況

##### ■ 観光入込客数の推移

震災が発生した平成23年は、観光入込が約36万人まで低下したが、平成24年時点では約90万人と被災前の9割程度まで回復した。平成25年は横ばいの状態だったが、被災地観光目的の方々の減少等により、平成26年は約76万人と低下傾向となった。

- ・震災により36宿泊施設中、21事業者が被災。再開新規を含め現在は20施設が通常営業
- ・防災・減災・命の学びを目的とした震災ツーリズムの実施
- ・交流拠点としての「南三陸ポータルセンター」がオープン(町内外の交流事業)(平成25年8月)
- ・観光復興推進計画(観光特区)の認定(平成26年12月)

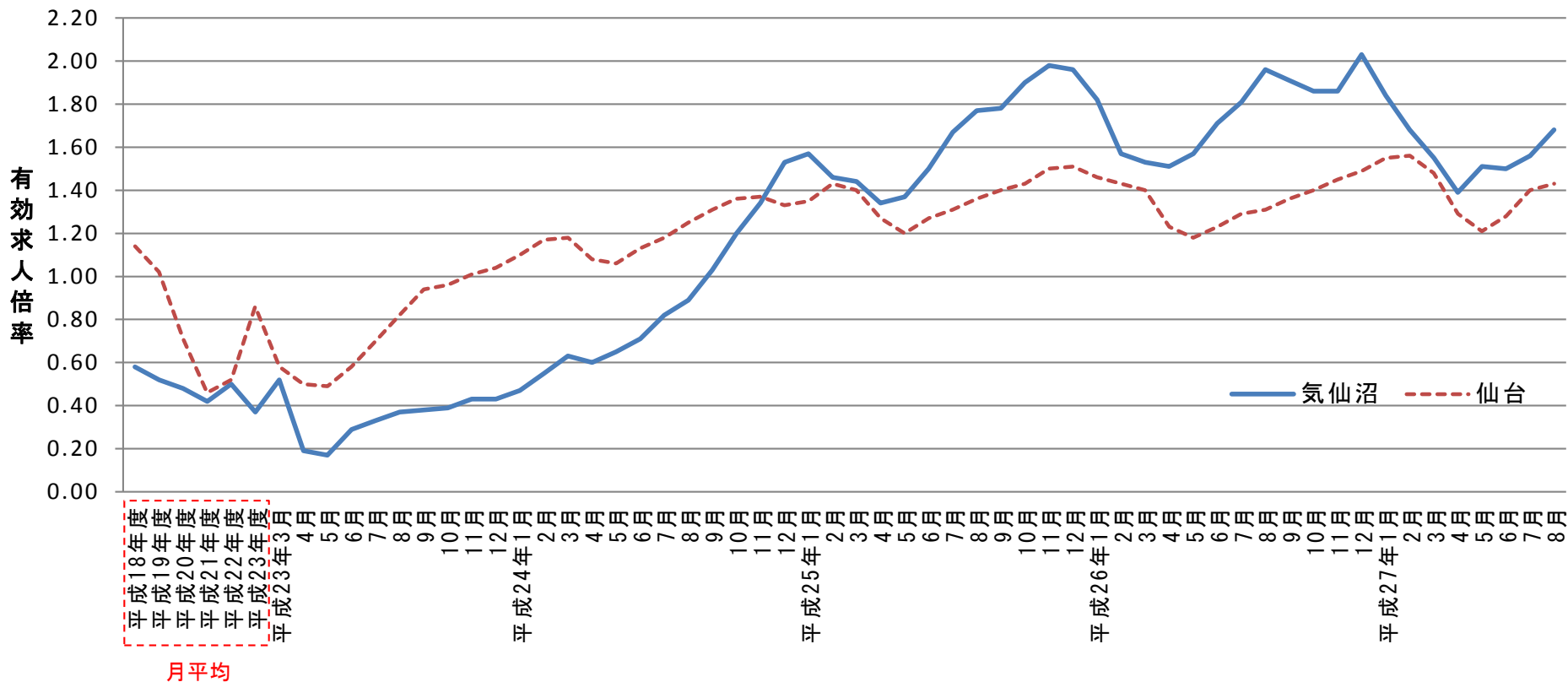




### 3. 産業・雇用

#### 3-5 雇用の状況

震災が発生した平成23年の有効求人倍率は0.5前後であったが、平成24年に入ると回復傾向を示し、平成24年9月以降は復興需要もあり、有効求人倍率は1.0を上回っている。



#### 3-6 地域公共交通の状況

##### ■ 公共交通：BRTの運行

JR気仙沼線は「柳津～気仙沼」区間で運休中となっているが、平成24年12月22日より、BRT(バス高速輸送システム)が本格運行開始した。鉄路復旧にあたっては、ルート移設や膨大な費用がかかるため、BRTでの本格復旧を受け入れ、早期のまちづくりを進めていく方針を打ち出している。



図 BRT駅  
(志津川駅・運行状況提供システム)

## 4. 公共施設

### 4-1 復興に向けた動き(医療)

#### ■医療:公立志津川病院

公立志津川病院は、町内に「公立南三陸診療所(平成23年4月18日)」と隣接する登米市米山町に公立志津川病院(平成23年6月1日、病棟38床※震災前は126床)を開設した。なお、平成27年12月の南三陸病院開業に向けて、建設工事を進めている。



#### 南三陸病院

・診療科 10科

内科、外科、整形外科、小児科、  
眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、  
皮膚科、婦人科、歯科口腔外科

#### 公立南三陸診療所

・診療科 10科

内科、循環器内科、外科、  
整形外科、小児科、耳鼻科、  
眼科、泌尿器科、皮膚科、歯科

#### ※参考(民間開業医等)

復旧した施設(被災施設)

医科	2 ( 6 )
歯科	2 ( 5 )
薬局	4 ( 11 )



## 4. 公共施設

### 4-2 復興に向けた動き(教育)

#### ■教育:戸倉小学校

戸倉小学校は海岸から200m付近に位置していたが3階建ての校舎屋上を越える津波が来襲し、全壊した。

震災後は志津川小学校に併設し教育活動を行っていたが、新しい戸倉小学校が戸倉地区防災集団移転促進事業用地に隣接する区域で、平成27年8月31日に完成し、10月4日から新校舎で授業を開始した。

被災前の戸倉小学校



戸倉小学校  
(平成27年8月完成)



## 4. 公共施設

### 4-3 復興に向けた動き(産業)

#### ■産業:南三陸町地方卸売市場

町の基幹産業を支える南三陸町地方卸売市場が着工の運びとなった。荷さばき場は壁で囲んだ閉鎖型で鳥の侵入を防ぎ、岸壁にも屋根をかけて日射を遮るなど、水揚げされる水産物の一歩進んだ衛生管理ができる施設として再生することとなっている。

今後は、町を挙げて水産物の衛生管理と森里海の環境保全に取り組み、おいしい南三陸の魚介類を多くの皆さんに選んでいただけるよう情報発信していく。



新南三陸町地方卸売市場（イメージ）



## 4. 公共施設

### 4-3 復興に向けた動き(行政)

#### ■南三陸町役場(新庁舎・歌津総合支所)

平成27年5月に、南三陸町役場の新庁舎(本庁舎・歌津総合支所)の基本設計を公表した。平成29年完成を予定しており、木のぬくもりある内装で、町民の交流スペースを設ける予定となっている。



南三陸町役場本庁舎 (イメージ)



## 5. ボランティアの状況

### ■ ボランティア数の推移

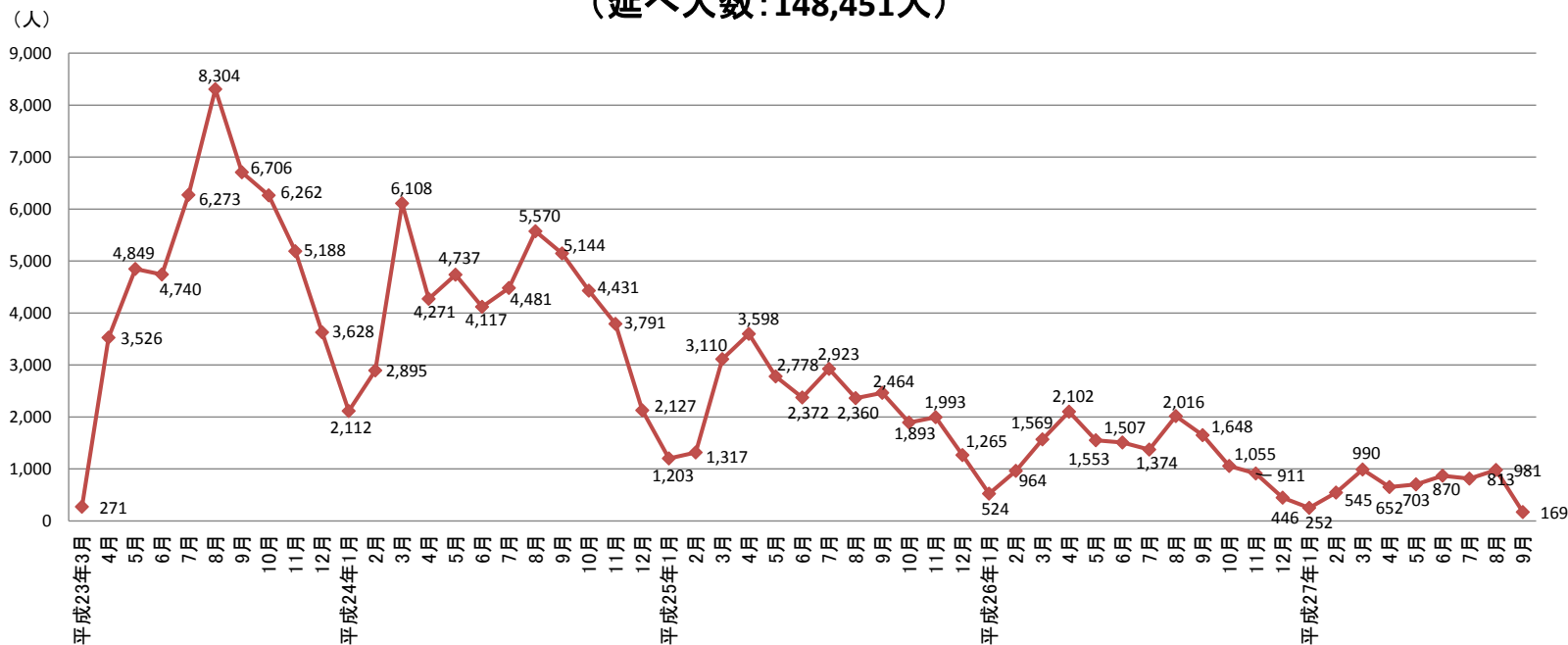
平成23年8月の約8,300人をピークに徐々にボランティア数は減っているが、例年3月や8月の休暇の時期にはボランティアが増える傾向が続いている。

また、ボランティアの活動内容は、震災直後は炊き出しや瓦礫の撤去が主でしたが、その後、田畑の堆積物の除去や除草作業の農業支援、ワカメや牡蠣の収穫作業などの漁業支援などに移ってきている。

### ■ 主な事例



(延べ人数: 148,451人)



## 6. 南三陸町の住宅再建支援制度

※※ 再建済み被災世帯状況 ※※ (平成27年9月30日現在)

- ①防災集団移転世帯【54件】
- ②個別移転世帯【町内移転 275件・町外移転 274件】
- ③町独自支援世帯【住宅修繕 111件・現地再建 17件】

### ① 防災集団移転事業補助金

災害危険区域内の住民が集団移転で移転を希望する場合に町が団地を整備する事業

- ①宅地造成・・・町が団地造成工事を行う
- ②住宅再建補助・・・住宅ローン利子補助



### ③南三陸町独自支援補助金

主に危険区域外で国の補助対象とならない被災世帯に対する支援

- ①被災住宅の修繕費用に対する補助
- ②被災住宅の建替えに対する補助
- ③再建先への移転費補助(引越)

### ②個別移転助成事業

(がけ地近接等危険住宅移転事業補助金)

- ①住宅再建補助・・・住宅ローン利子補助
- ②移転費補助・・・再建先への引越補助

## 7.地域の現状と課題について

### 7-1 継続的な財政支援

町では、震災から10年後となる平成32年度を目標年とする「震災復興計画」を策定し、様々な復興事業の実施を予定している。

その実現には、国による財政支援が不可欠であるが、国の集中復興期間終了後の平成28年度以降から被災地の一部負担が求められる。

今後、約300億円の事業費が見込まれており、被災地の継続的な財政支援の確実な実行を要望して行く。



《小泉進次郎復興大臣政務官へ要望活動》  
平成25年11月24日、25日  
平成26年3月6日

※要望活動時の役職

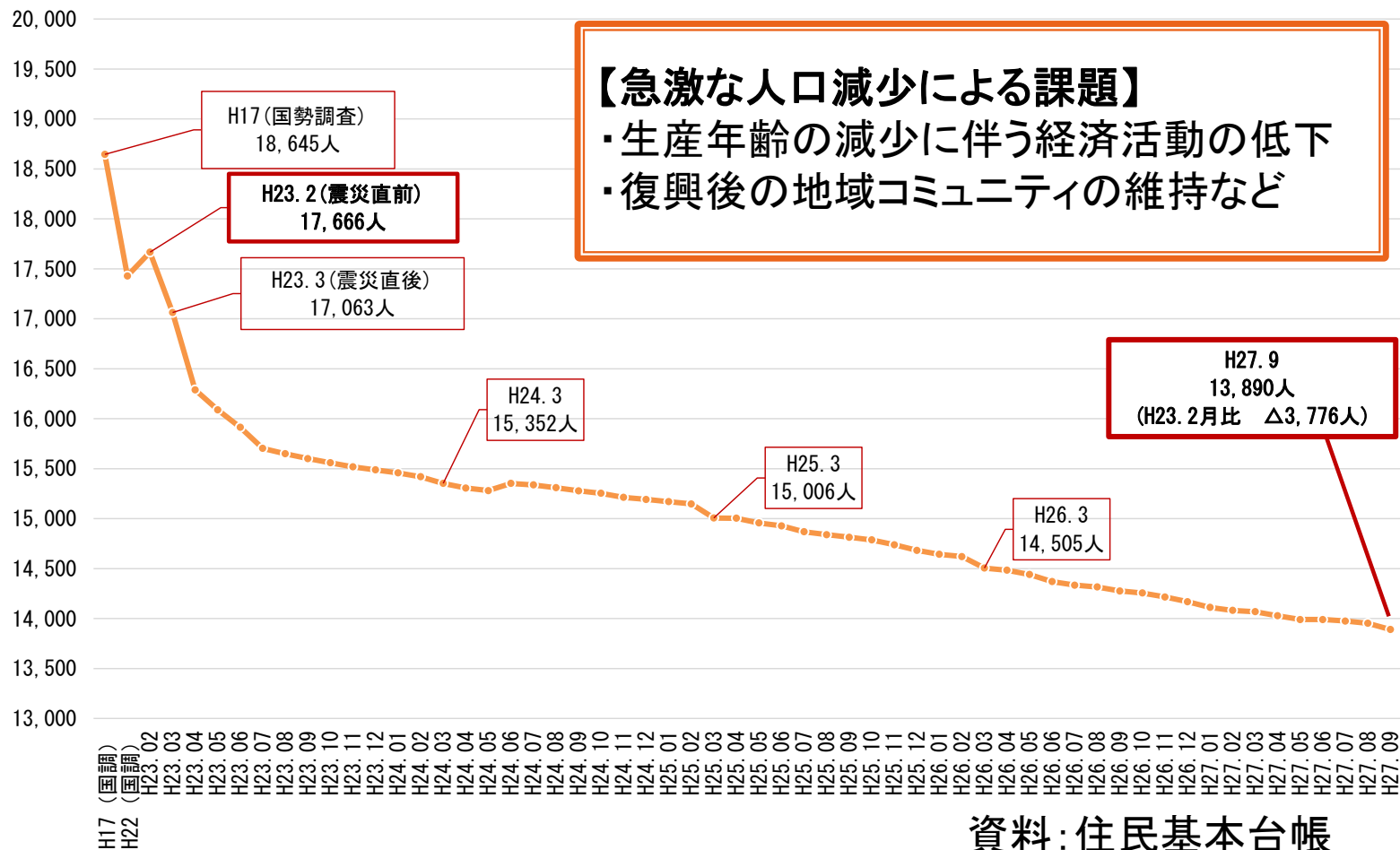




## 7.地域の現状と課題について

### 7-2 急激な人口減少

震災後、急激な人口減少が見られたが、急激な減少に歯止めがかかり、横ばいの傾向となっている。今後のまちづくりを進める上でも住まいの確保や人口流出を防ぐ方策が急務となっている。



## 7.地域の現状と課題について

### 7-3 グループ化補助金の期間延長

被害が甚大な漁港周辺では、地盤改良等が必要であるが復旧に時間を要する地区もあり、再建先が決まらないため、制度を利用できない者もいる。



#### グループ化補助金認定状況

1次	南三陸地区水産加工業復興グループ	④水産（食品）加工業型	8社
2次	南三陸町造船鉄工協力会	③地域に重要な起業集積型	10社
3次	南三陸町地域観光復興グループ	③地域に重要な起業集積型	15社
5次	南三陸商業グループ	③地域に重要な起業集積型	51社
5次	南三陸流通グループ	③地域に重要な起業集積型	15社
6次	南三陸社会資本整備グループ	③地域に重要な起業集積型	47社
6次	南三陸コミュニティグループ	③地域に重要な起業集積型	13社
7次	南三陸町里創建みらいグループ	③地域に重要な起業集積型	4社
10次	南三陸町里創建みらいグループ	③地域に重要な起業集積型	6社
10次	南三陸コミュニティグループ	③地域に重要な起業集積型	5社
**	他市町申請分（6グループ）		15社
		合計	189社

\* 第4次は福島県内グループのみ

## 8. 復興に向けたこれまでの歩み

発災～23年度			24年度		25年度		26年度			27年度																																																	
23.3.11	23.4.27	23.6.30	23.8.31	23.10.21	23.10.24	23.12.7	23.12.13	23.12.26	24.2.25	24.3.2	24.3.27	24.4.1	24.4.16	25.2.12	25.2.26	25.5.25	25.8.1	25.12.21	26.3.24	26.3.28	26.7.14	26.8.1	26.9.4	26.12.17	27.2.2	27.10.4																																	
東日本大震災発生		応急仮設住宅第一号（津山町横山住宅）完成		自衛隊撤退		応急仮設住宅建設完了		避難所閉鎖		仮設魚市場完成		(国)東日本大震災復興特別区域法成立		伊里前復幸商店街オープン		南三陸町震災復興計画策定		南三陸さんさん商店街オープン		第一回復興交付金配分可能額通知		役場仮庁舎・公立南三陸診療所完成式典		(気仙沼ブロック南三陸処理区)		震災がれき焼却施設完成・火入れ式		がけ地近接等危険住宅移転事業申込受付開始		災害公営住宅整備事業着工式（入谷桜沢）		防災集団移転促進事業着工式（藤浜団地）		災害公営住宅整備事業着工式（入谷桜沢）		モアイ像贈呈記念式典		南三陸ポータルセンターオープン		防災集団移転団地第一号竣工式（藤浜団地）		災害がれき焼却処理完了		(気仙沼ブロック南三陸処理区)		バイオマス産業都市第二次選定地域に選定		(仮称)町立南三陸病院・総合ケアセンター起工式		災害公営住宅の入居開始（入谷桜沢・歌津名足）		戸倉小学校建設工事着工		南三陸町復興推進計画（観光特区）認定		災害公営住宅の入居開始（歌津柞沢）		戸倉小学校開校	



チリ国から寄贈のモアイ像



高台を削った防災集団地県内第一号「藤浜団地」



町立南三陸病院・総合ケアセンター完成予想図



(建設中) 南三陸病院  
【平成27年10月2日撮影】



南三陸町